

実践報告（実践校 1 年目）

鹿屋市立輝北小学校

1 はじめに

本校は、鹿屋市の北西部に位置し、今年で開校 6 年目を迎える。各学年 1 学級ずつ、児童数 110 名の学校である。

子どもたちの実態として、本を読むことは好きだと答えていて、図書室へ足繁く通う様子が見られる。しかし、普段の学習やテスト等の結果から、内容を理解したり、考えを表現したりする力に課題が見られる。また、意識調査からも、自分の考えや感想を書いたり、友達の前で発表したりすることへの苦手意識を持っていることがうかがえる。

そこで、様々な形で子どもたちの学力向上を図る取り組みができないかと考え、今年度より N I E 実践の指定を受けた。他校の様々な実践を参考にしつつ、本校独自の取り組みを考えてきた 1 年であった。

2 実践内容

① 職員研修の実施

本校では、申請の関係で 9 月からの購読となった。

そのため、N I E への理解を深め、学校としての取り組みを考えるために、7 月に職員研修を実施することができた。

講師の話のあと、各学年部ごとの目標や具体的取り組みを話し合った。

各学年部の目標と具体的取り組み		
低学年部	新聞を活用して語彙力向上を図る。	・ 記事の中から知っている文字を探す。
中学年部	新聞に対する興味や関心を高め、新聞に慣れ親しませる。	・ 興味を持った新聞記事を紹介する。(朝の会など)
高学年部	新聞を読み、その記事に対しての自分の考えを書く。	・ 新聞記事を読み、その記事に対する自分の思いや考えなどを書く。 ・ 新聞記事をもとに作られたワークシートの問題を解く。

② 「新聞よむのびコンクール」への作品募集

4年生から6年生を対象に、夏休みの課題で「新聞よむのびコンクール」の作品募集を行った。

多くの児童が作品を仕上げ、よむのびコンクールに応募した。1つの新聞記事を通して親子で意見交換を行うことができた。

③ 各学年の取り組み

【低学年部】

新聞から既習の文字を探す活動の様子



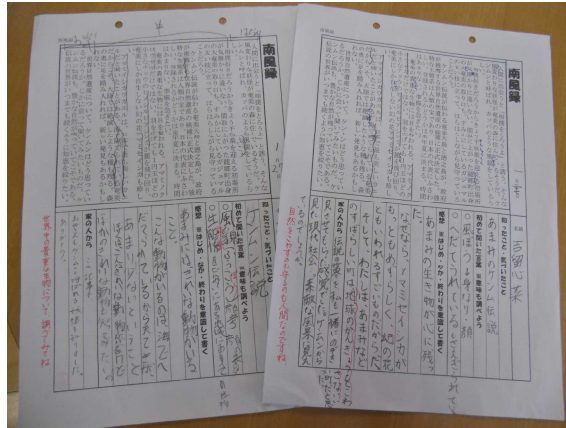
【中学年部】

朝の会で、自分が選んだ記事を紹介する様子



【高学年部】

南風録や新聞記事を読み、言葉の意味を調べたり、考えを書いたりできるようなワークシートを作成し、宿題として配付した。保護者にもコメントをもらうようにした。また、新聞記事をもとに作られたワークシートは問題を解くだけでなく、家庭で音読をするようにした。



朝の会で、選んだ記事についての感想を発表する様子。

(担任が児童の名前が書かれたカードをひき、そのカードで指名された児童が感想への意見を述べる時間も設けた。)



発表したワークシートは教室に掲示



3 成果と課題

【成果】

- ☆ 各学年工夫して取り組むことができた。
- ☆ 総合的な学習の時間で調べたことを新聞にまとめる活動を通して、調べて分かったこと、考えたことを分かりやすく表現する力がついてきた。
- ☆ 高学年では、家族で新聞記事を読んだり、感想を交流したりして、親子のコミュニケーションを図ることができたと考えられる。
- ☆ 友達の感想を聞いて、意見を発表する時間を設けたことで、話をよく聞いたり、簡潔に意見を述べたりする力がついてきた。

【課題】

- ★ 各学年の取り組みに任せるだけでなく、学校として取り組む時間を設定する必要がある。
- ★ 学校に1部しか届かない新聞を全校でどのように活用するか、工夫が必要である。
- ★ 家庭での新聞購買率が低い。そのため、学校でなければ新聞を目にすることがない児童も多い。そのため、校内に児童のための新聞コーナーを設置する場所を確保するために、検討が必要である。
- ★ 新聞を目にする機会が少ないため、自分で新聞記事を選ぶ力をつけることが難しい。（教師が選ぶ記事を読むだけでよいのか悩む。）
- ★ 各学年の発達段階に応じた新聞活用について、職員間での共通理解を図っていく。